

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: コレラ 1 例 (感染地域: パキスタン)、細菌性赤痢 6 例 (感染地域: インド 3 例、中国 1 例、ベトナム 1 例、エジプト 1 例)、腸チフス 2 例 (感染地域: 愛媛県 1 例、インド 1 例)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 191 例 (うち有症者 127 例、HUS 1 例) [感染地域: すべて国内 国内の多い感染地: 岐阜県 (27 例)、福岡県 (16 例)、大阪府 (14 例)、愛知県 (13 例)、千葉県 (12 例) 年齢群: 10 歳未満 (73 例)、10 代 (31 例)、20 代 (29 例)、30 代 (20 例)、40 代 (7 例)、50 代 (15 例)、60 代 (6 例)、70 歳以上 (10 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (97 例)、O26 VT1 (37 例)、O157 VT2 (31 例)、O111 VT1・VT2 (6 例)、O157 VT1 (4 例)、O111 VT1 (3 例)、O165 VT2 (2 例)、O103 VT1 (1 例)、O121 VT2 (1 例)、O145 VT2 (1 例)、O26 VT1/O157VT2 (1 例)、その他/不明 (7 例)]
- 4 類感染症: A 型肝炎 3 例 (感染地域: 兵庫県 1 例、岡山県 1 例、長崎県 1 例)、エキノкокクス症 1 例 (多包条虫、感染地域: 北海道)、レジオネラ症 15 例 (すべて肺炎型) (年齢群: 40 代 1 例、50 代 5 例、60 代 4 例、70 代 4 例、80 代 1 例 感染地域: 山形県 2 例、東京都 2 例、岩手県 1 例、宮城県 1 例、秋田県 1 例、栃木県 1 例、神奈川県 1 例、新潟県 1 例、富山県 1 例、石川県 1 例、長野県 1 例 (温泉)、大阪府 1 例、宮崎県 1 例)
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 14 例 (腸管 9 例、腸管外 5 例) [感染地域: 国内 12 例、中国 1 例、アンゴラ 1 例 感染経路: 経口 3 例、性的接触 4 例 (異性間 2 例、同性間 1 例、不明 1 例)、夫婦間 1 例、不明 6 例)、ウイルス性肝炎 1 例 (B 型: 感染経路\_カミソリの共用)、急性脳炎 1 例 (病原体不明、4 歳)、後天性免疫不全症候群 11 例 (無症候 9 例、AIDS 1 例、その他 1 例) [感染地域: 国内 10 例、ブラジル 1 例 感染経路: すべて性的接触 (異性間 6 例、同性間 5 例)]、ジアルジア症 2 例 (感染地域: 国内 1 例、カンボジア 1 例)、梅毒 13 例 (早期顕症 I 期 6 例、早期顕症 II 期 3 例、晩期顕症 1 例、無症候 3 例)、破傷風 4 例 (20 代 1 例、50 代 1 例、60 代 1 例、70 代 1 例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2 例 (遺伝子型: VanA 1 例 (菌検出検体: 腹水)、遺伝子型: VanC 1 例 (菌検出検体: 血液))

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 22 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県 (2.93)、青森県 (0.98)、宮崎県 (0.64)、岩手県 (0.52) が多い。  
 小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 95 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 74% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では宮崎県 (2.5)、三重県 (2.4)、埼玉県 (2.3)、富山県 (2.1) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 25 週以降、減少が続いているが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では三重県 (1.6)、富山県 (1.6)、福島県 (1.5) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福井県 (9.2)、大分県 (6.5)、鳥取県 (6.2) が多い。水痘の定点当たり報告数は第 25 週以降、減少が続いている。都道府県別では愛媛県 (1.6)、青森県 (1.6)、北海道 (1.6) が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県 (16.5)、岐阜県 (6.3)、三重県 (5.2)、滋賀県 (4.8) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮城県 (1.1)、埼玉県 (1.1)、静岡県 (1.1) が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では高知県 (0.07)、福井県 (0.05)、長崎県 (0.05) が多い。風しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では福井県 (0.05)、徳島県 (0.05) が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は 3 週連続して減少した。都道府県別では北海道 (6.8)、青森県 (6.4)、宮城県 (6.0) が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では広島県 (0.04)、千葉県 (0.02)、神奈川県 (0.01) が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では新潟県 (4.6)、鹿児島県 (4.4)、長野県 (3.3) が多い。  
 基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府 (3.3)、青森県 (2.0)、栃木県 (1.3) が多い。成人麻しんは 1 例 (北海道) の報告があった。

1)	小児科定点												眼科定点		基幹定点							
	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																						
愛媛県	.1	.1	1.4	.6	4.2	1.6	.9	.1	1.3			3.6	1.3		4.5		.2	.7				
香川県	.1		1.3	.5	1.8	.8	2.3	.2	.5			2.5	1.7		1.7							
徳島県			1.1	.5	1.1	1.1	2.3	.1	.7		.1	3.0	2.9		1.0							
高知県	.0		.9	.4	2.5	.3	1.7	.1	.7	.1		4.2	.5		1.7		.1	.7				
全国	.1	.0	1.3	1.0	2.9	1.0	1.9	.6	.8	.0	.0	2.7	.0	1.6	.0	1.4	.0	.2	.5	.0	.0	.0
北海道	.1	.1	1.7	1.4	1.3	1.6	.9	.3	.6	.0	.0	6.8		2.5		.6						.0
東北	.3	.0	.6	1.1	2.1	1.2	.5	.7	.6	.0	.0	3.9	1.8		.1	.7		.0	.8			
関東	.0	.0	1.7	1.0	2.7	.9	1.5	.7	.8	.0	.0	1.7	.0	1.5	.0	2.2		.1	.5			
甲信越北陸	.0	.0	1.4	1.3	3.1	.9	4.4	.4	.8	.0	.0	2.6	2.7		1.5		.0	.4	.3			
東海	.0	.0	1.6	1.1	2.9	1.2	4.9	.9	.8	.0	.0	2.3	1.3	.0	1.0	.1	.3	.3				
近畿	.0	.0	1.1	.9	3.0	.9	1.8	.4	.8	.0	.0	2.9	.0	1.4	.0	.8	.0	.3	.8			
中国四国	.0	.0	1.0	.8	3.3	.7	1.0	.3	.8	.0	.0	2.9	.0	1.3	.0	1.6	.0	.2	.3	.0		
九州沖縄	.4	.1	1.3	.8	4.1	1.0	.6	.4	1.1	.0		2.5	1.7	.0	1.3	.0	.1	.3	.0			

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。 (8月3日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第30週 (2006.7.24 ~ 7.30)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																								
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ボツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症					
第30週報告数	全 国	1	6	2		191			3	1																15	14	1	1						11	2			13	4		2			
	四 国	愛 媛 県			1		1																																						
		香 川 県					1																																						
		徳 島 県																																											
		高 知 県																																											
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					4				1																																		
		東 北 道					18																				5	1	1														1		
		関 東 圏	1	2	1		47																				5	10		1						9	1				5	2			
		甲信越北陸					13																				3	1													1				
		東 海 道			2		45																																					1	
近 畿 圏				2		30				1																	1	1								1	1			2	1		1		
中国四国				1	10				1																																				
九州沖縄					24				1																1																				
週 推 移	全 国	30週	1	6	2	191			3	1																15	14	1	1						11	2			13	4		2			
	29週			6	2	125			3				2													7	12	4						1	11	1			5	1					
	28週			5	2	122	2		2				4	2							2					7	11	4	3					2	10				7			2			
	27週	5	3		1	105			2				5	1	2					2					9	10	2	2	1	3	2	12						9	3						
2006年累積数	全 国	31	229	49	15	1494	43		234	15	15	1	1	171	26	14		2		1	33		3	249	1	418	141	100	8	91	76	702	53	9		353	55			44					
	四 国	愛 媛 県		3	1		11			4				1												1	1	3	1		1		6				2								
		香 川 県					11			1		2	1														3	2				1	2				6								
		徳 島 県					16																						3								3	1							
		高 知 県			2	1				2											1													3			20								
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					26	11		12	14				1									1	7		12	4	3		5	6	18	1			6	2							
		東 北 道	1	5			139	2		9				98							2					14	14	9	4		5	4	24			1		20	1		4				
		関 東 圏	16	90	30	11	407	15		47		5		1	6	12				1		17			74	197	33	39	6	29	26	373	23	4		102	19			17					
		甲信越北陸	7	15	3	1	85	4		20		1			40	2					4				29	10	12	8	1	12	4	30	6	1		12	3			3					
		東 海 道	2	24	5	2	185	3		30	1	2			4	5					1			2	38	50	21	9		8	14	77	2	1		37	2			7					
近 畿 圏		1	75	7	1	272	1		62		3			2	3	2					1	6			49	102	37	12	1	11	15	135	15	1		46	5			7					
中国四国	2	9	2		167	2		34		2	1		10	1	5					2				26	16	15	12		13	5	28	3			49	7			2						
九州沖縄	2	11	2		213	5		20					11	2	7									12	17	10	13		8	2	17	3	1		81	16			4						

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.8.3集計)